

地域再生プロジェクト計画書

市町村名	釧路市	単一実施・広域実施
------	-----	-----------

地域再生プロジェクト名	くしろ木づなプロジェクト			プロジェクトの期間	H23年度～H24年度	
格差の分野	<input type="checkbox"/> 社会構造の格差 <input checked="" type="checkbox"/> 地域経済の格差 <input type="checkbox"/> 地方行財政の格差 <input type="checkbox"/> 医療・福祉の格差 <input type="checkbox"/> その他の格差（ ）		地域経済の格差を客観的に比較する選択指標 [<input type="checkbox"/> 一人当たり課税所得 <input checked="" type="checkbox"/> 完全失業率 <input type="checkbox"/> 観光入込客数]			
				医療・福祉の格差を客観的に比較する選択指標 [<input type="checkbox"/> 少子化率 <input type="checkbox"/> 医師・歯科医師数 <input type="checkbox"/> 医療・福祉就業者数]		
是正を目指す地域格差の状況	〔木材・木製品製造業 従業員減少割合(H12比) (工業統計H12, H21)〕	・釧路市 64% ・全道の平均 43%	〔完全失業率 (H17)〕	・釧路市 8.29% ・全道の平均 6.52%	H23年度 内示額	6,000千円
地域重点プロジェクトとの関連性	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	◆地域重点プロジェクト名 森を育み、森に親しむ「釧路の森林づくり」プロジェクト		◆主な取組 ○建築業者や農業等と連携した地材地消の推進、森林バイオマスの利活用の促進		
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	◆ 地域の課題 地域内での、地域の木材消費向上 ◆ プロジェクトの目標 地域の木材を地域内で高次加工する体制整備					
期待される効果（指標）	① 交付金支援期間終了時の成果目標 ・木材・木製品製造業従業員の減少ストップ (H24:109人)		② 将来的な成果目標（概ね 5年後） ・木材・木製品製造業従業員の減少ストップ（継続）（109人） ・地域材利用住宅増(3割)に伴う雇用増（16人）			

地域再生プロジェクトの展開

○住民・民間団体等との協働・広域連携	①地域再生プロジェクト企画立案における連携（地域意見の把握方法など） 平成22年11月に、林業・木材産業の事業者はもとより、平野部で盛んな酪農業（畜舎敷料として木材を利用）、木質バイオマスをボイラー燃料として利用する事業者など、木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を設置し、市内の豊富な森林資源の活用に向け、検討を始めている（計27名で、川上分野13名、川下分野14名の2部構成としている。※H23.7現在）。 本プロジェクトの実施内容については、円卓会議での議論を踏まえた企画としている。
	②事業実施体制の考え方（多様な主体の参画、地域相互の連携・補完） 今後も多様な主体が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」において、事業の進め方について議論を行いながら、事業展開を行う予定である。
○取組内容の独自性（先駆性）	釧路市は、平成17年10月に阿寒町、音別町と合併し、森林面積10万1千ha、人口18万4千人の“森林都市”となった。森林もあり、消費地でもあることになった合併地域での地域材利用の取組は先駆的である。 また、「釧路森林資源活用円卓会議」には、釧路市内で森林面積の多い旧阿寒町、旧音別町の両地域からそれぞれ素材生産業者や建設事業者が参加している。これまで各地域で行ってきた事例を紹介しあい、アイデアを出し合いながら事業を実施する進め方には、独自性がある。

○地域の資源・資産の活用や他の分野への波及効果（優位性）

地域の豊富な資源である「森林」を活用しようとする取組であり、素材生産や製材などの各部門で雇用が発生し、大きな経済波及効果がもたらされる。また、森林資源という環境負荷の低い資源を有効に活用することで、鉏路市は環境に配慮した取組みを進める街であることへのPR効果も持ち合わせている。さらに、地域材の継続利用により、伐採後に確実な再造林を行うなど循環型の森づくりを進めていくことができる。これは造林や下刈り、間伐など適切な地域の森林整備を行うことによる、地元での継続的な雇用増にもつながる。

○支援期間終了後における地域再生プロジェクトの展開（継続性）

◆ 事業の実施主体について

支援期間終了後においても、市全体の地域材利用にかかる方向性の共有により、行政・各事業者などが、それぞれ役割分担を行いながら、実施していく。

◆ 財源の考え方

適宜、必要な財源を確保しながら進めることとなる。

地域再生プロジェクトを構成する事業の概要

(千円)

No	事業名	実施主体	実施形態	実施期間	交付対象となる事業の区分	年次	事業費	事業の概要	
1	もっと知るくしろの木	鉏路市	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/>	H23 ～ H24	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 継続実施	全体計画	5,800千円	5,800千円	
							2,800千円	2,800千円	林分調査、品質調査、流通調査
							3,000千円	3,000千円	〃
2	もっと使うくしろの木	鉏路市	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/>	H23 ～ H24	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 継続実施	全体計画	3,800千円	3,800千円	
							800千円	800千円	商品開発（試作）
							3,000千円	3,000千円	〃
3	もっと伝えるくしろの木と技	鉏路市	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/>	H23 ～ H24	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 継続実施	全体計画	6,400千円	6,400千円	
							2,400千円	2,400千円	人材育成研修の実施、普及啓発事業
							4,000千円	4,000千円	研修の実施、普及啓発の実施
4			<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/>	～	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 継続実施	全体計画			
							初年度（H23）		
							2年度目（H24）		
合計			<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/>	～	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 継続実施	全体計画	16,000千円		
							初年度（ ）	6,000千円	
							2年度目（ ）	10,000千円	